

# 湖東普及だより

令和4年  
夏号

編集発行

滋賀県湖東農業農村振興事務所農産普及課（発行責任者：數野 幾久）  
（湖東農業普及指導センター）

〒522-0071 彦根市元町4番1号

TEL：0749-27-2228 FAX：0749-23-0821 E-mail：ga32@pref.shiga.lg.jp

Facebook アドレス：https://www.facebook.com/hukyuudayori.kotou

Facebook ページ2次元コードはこちら→



## GAP認証取得 湖東地域第1号誕生！

JGAP



このほど、彦根市の（有）フクハラファームが、キャベツの生産出荷における JGAP 認証を取得されました。これまで、湖東地域で JGAP を含む「国際水準 GAP」の認証を取得された生産者はなく、今回が当地域初の認証取得です。

GAP は、Good Agricultural Practice の略で、日本語では「農業生産工程管理」と訳されます。農産物の生産にあたり、農作業事故、農薬の誤使用、農産物への異物混入等に代表される様々なリスクを整理し、その対策を考え、実践・記録・評価することで、安全安心な農産物の生産、良い農場づくりにつなげていく取組です。

（有）フクハラファームでは、認証取得に対する商談先からの強い要望を契機に、商談先の手厚いサポートのもと急ピッチで現場改善等をすすめられ、取組開始からわずか半年余りでの認証取得となりました。当課も、必要帳票の作成や、現場の労働安全・食品安全確保に向け、側面的に支援を行いました。

滋賀県では、認証取得に向けた研修会を開催するなど、GAP 取組を推進しており、令和3年12月時点での県内の国際水準 GAP 認証取得数は29組織53経営体となっています。

GAP 認証取得に興味のある方は、農産普及課までご相談ください。

「ともだちのえがお大すき じぶんのえがおも大すき」 金城小学校1年 尾本 愛理さん  
（彦根市 はーとふるメッセージ2021入賞作品）

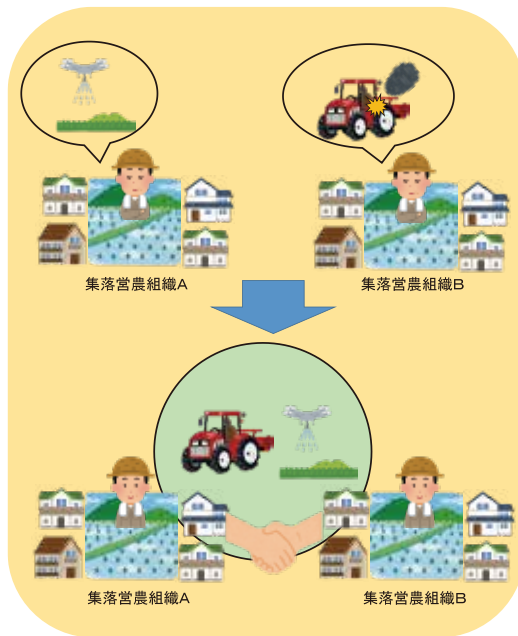
# 集落間で協力して地域農業を守ろう

## 集落営農組織間で協力に向けた話し合いを進めてみませんか

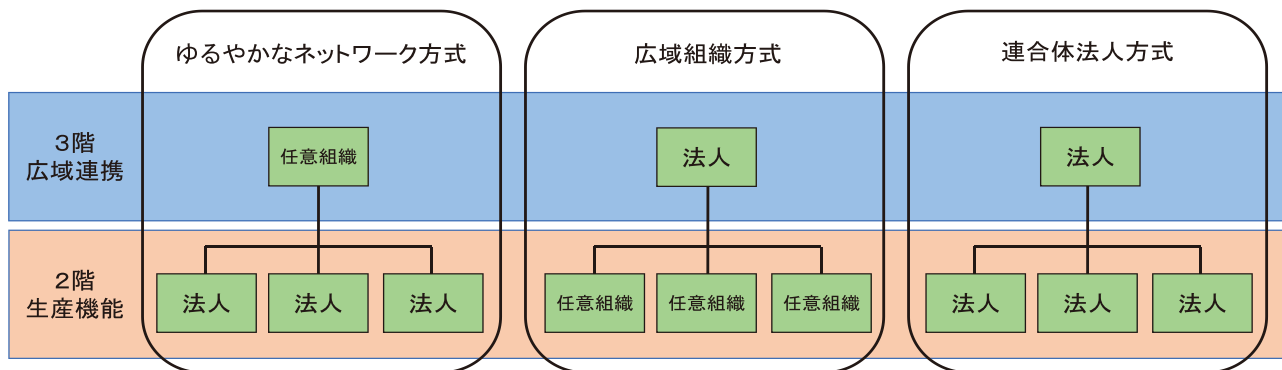
これまで湖東地域の集落営農組織の活動は集落単位で進められてきました。しかし、経営規模の問題や、構成員の高齢化・減少により、オペレーターの確保や、機械・設備の導入・更新に苦慮されている組織もあるのではないのでしょうか。そのような場合、近隣に同じような課題を持つ組織が協力し合うのも解決手段の1つです。

そのためにはまず、組織同士での話し合いの「場」を作ることが第一歩です。旧町村、学区単位などコミュニケーションを取りやすいグループで、各組織の困っていることを出し合い、抱えている問題を挙げていきます。次に各組織の作付け品目や、保有する機械・施設の状況、オペレーターの人数等の現状をまとめてグループで共有します。困りごとと現状を共有し、重ね合わせることで、連携により解決できる課題が見えてくることもあります。機械の共同購入やオペレーターのやり取りなど、具体的な連携項目が挙がってきたら、実践に向けたルールの検討に入ります。

組織間の話し合いに向けて前向きな意見がございましたら、農産普及課へお問い合わせください。



### 《さまざまな連携の形態》 農業戦略指針追録版より



※ 1階は生産基盤を維持管理する公益機能

## 湖東地域でも連携に向けた取組が始まっています

彦根市河瀬学区の(農)ファーム犬方、(農)河瀬西部営農組合、(農)つづらファーム、(農)KGファームは法人間の連携によって、地域農業の継続を図ろうと動き出しました。これまでは組織間で話し合いの場がありませんでしたが、令和3年12月5日に連携協議会「河瀬アグリネット」が設立され、情報交換や技術研鑽のほか、農地集約、農業機械の共同利用に向けて具体的な検討をしていきます。



# ハウス白カブ栽培を推進しています

## 水稻跡育苗ハウスを有効活用

湖東地域では水稻育苗ハウスでの白カブを重点園芸品目と位置付けており、栽培を推進しています。2016年から栽培がスタートし、主に稲枝地域の土地利用型農家を中心に生産が行われており、長浜市場やJAの直売所に出荷されています。

栽培は比較的容易です。葉物野菜と比べると出荷調整作業の際にも扱いやすく、ダイコンよりも軽量なため女性が主体となって栽培することも可能です。

冬季の仕事づくりや収入源として、水稻育苗ハウスや空きハウスで白カブ栽培を始めてみませんか？

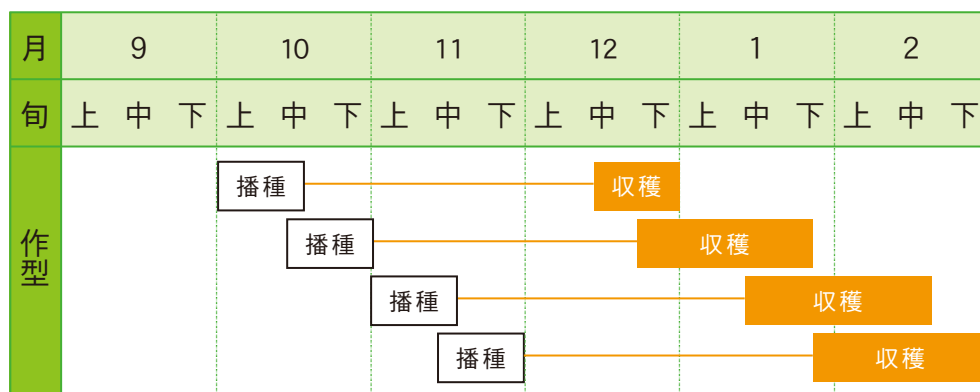
## 栽培について

品種は「CR味くらべ」です。10月から11月にかけて播種すると、12月から2月にかけて収穫できます。病虫害防除対策として、播種時に害虫予防のための殺虫剤を土壌混和します。播種後はコナガやアブラムシなどの害虫・白さび病などの病気の防除が必要です。

今年度は播種前に栽培研修会を開催する予定です。また栽培期間中にはハウスを巡回し、栽培支援を行います。栽培を希望される方は農産普及課まで気軽にお声がけください。



栽培暦



収支試算例（3aあたり）

出荷量	販売単価	販売金額	経費	所得	労働時間
2000玉	80円/玉	160,000円	67,000円	93,000円	66.4時間

※経費には人件費・燃料費を含んでいません。

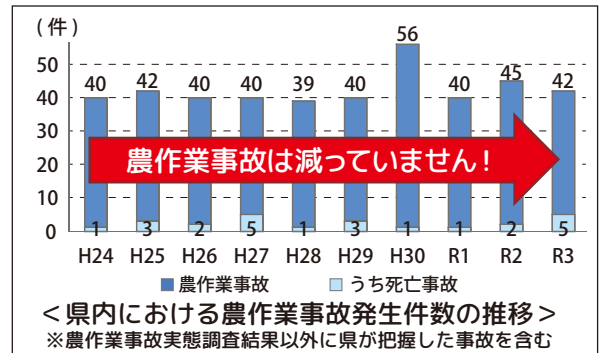
※令和4年度 JA 東びわこ重点園芸品目栽培設計書より引用

# 滋賀県で発生した農作業事故

## 昨年は多くの死亡事故が発生しました

令和3年は滋賀県で42件の農作業事故が発生し、内32件が人身事故（死亡や重傷を含む）でした（右図）。「トラクター」での事故が多く、主な原因は「ほ場への進入・退出時の転落・転倒」でした。

死亡事故については、過去10年間で平成27年と並んで最も多く発生しました。「安全第一」で無理のない作業計画をお願いいたします。



## 農作業事故は誰にでも起こり得ます！

大きな事故を防ぐには、不注意を起こさないことが大切です。ですが、毎日の農作業で常に細心の注意を払い続けることは困難です。

大切なことは、ミスが起きても大きな事故にさせないことです。作業前のシートベルトやヘルメットの装着など、事故が起きる時にどうやって身を守るか、改めて考えてみてください。

## 農業大学校で農業を学びませんか！



滋賀県立農業大学校（専修学校）では、本県農業を担う優れた青年農業者等を養成する「養成科」と就農に向けて必要な技術と知識を修得する「就農科」があります。

オープンキャンパスの開催等について、詳しくは同校教務担当（0748-46-2551）または農産普及課までお問い合わせください。また、就農科を希望される方は、願書受付開始までに、必ず就農予定地を所管している農産普及課にご相談ください。

### 各科の願書受付期日

	養成科(2年間)		就農科(1年間)
	推薦入試	一般入試(一次※)	選考(一次※)
募集人数	20名程度	10名程度	15名
願書受付期間	令和4年10月7日(金)～10月19日(水)まで	令和4年11月25日(金)～12月6日(火)まで	令和4年11月8日(火)～12月9日(金)まで
応募資格	滋賀県内に在住で、令和5年3月に高等学校卒業見込みの者で成績優秀な者	高等学校を卒業した者および令和5年3月卒業見込みの者等	20歳以上65歳未満 <u>修了後、県内で農業経営を行うことが確実な者等</u>

※定員に達しない場合、二次募集あり

この印刷物は、グリーン購入法適合用紙を使用しています。